

平成29年度 志教育全体計画

宮城県利府高等学校

校 訓		
1. 心身の健康	2. 徳性の涵養	3. 知性の啓発

本校の教育目標
1. 強い意志とたくましい実践力をもつ、心身ともに健康な人間を育成する。 2. 自主・自立と協調・奉仕の精神をもつ、心豊かな人間を育成する。 3. 創造性に富み、広い視野をもつ、知性豊かな人間を育成する。

生徒の実態，教師の願い
・規律を守り，明るく健康的な生徒で，運動部が好成績を維持している。 ・自主・自立の精神を持ち，社会の一員として責任ある行動をとるとともに，自己の進路に明確な目標を持って，積極的に学習に励む。

保護者や地域の願い
・文武両道をモットーに，基本的な生活習慣を身につけるとともに，さわやかな学校の印象を維持してほしい。 ・単位制の採用と体育学科の特色を生かし，多様な進路選択を実現してほしい。

「志教育」の目標
1. 目標に向かって最後まで努力し，自主的に健康を管理できるようにする。 2. 自らの役割を果たし，礼儀正しく相手の立場になって考え行動できるようにする。 3. 協調性に富み，創意工夫して学校生活を送り，積極的に地域や社会活動に参加する態度を養う。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
地域・社会・ボランティア活動に積極的にかかわり，協調・奉仕の精神をもつ豊かな人間性を育成するとともに，マナーやルールを遵守し，責任ある行動力と正しいコミュニケーション能力を身につける。	オープンキャンパスや一日総合大学等の体験学習に意欲的に参加して，自らの適性・能力を把握するとともに，面談や進路相談を基にして自己理解を深め，自主的に進路選択できる能力とそれを成し遂げる実践力を養う。	学校行事やHR活動での自らの役割を認識し，協働して責任を果たすとともに，地域の活動やボランティア活動に積極的に参加して，社会の中での自己の役割や特性を把握し，自らの価値観や自らを生かす方法を考えさせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	基礎・基本の確実な習得と家庭学習の習慣化の意義を踏まえた学習計画のもと，一般受験に対応できる学力を身につけさせる。また，3年間を見通して適切な進路の選択ができるように，個々の生徒の発達段階や各種進路行事に適応したシラバスに従い，目標達成に向けて確かな学力を身につけさせる。
道徳	様々な人とのかかわりの中で，感謝の気持ちや思いやりの精神を培うとともに，文武両道の精神をもとに切磋琢磨していく中で，人として望ましい心豊かな生き方を追求し，具現化しようとする態度を育てる。
学習の総合的な時間	探究的な学習を通して，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し問題を解決する力を養うとともに，地域や学校の特色や生徒の特性等に応じて創造力や協調性を育みながら，主体的に進路について考えさせる。
特別活動	望ましい集団活動を通して，心身の調和の取れた発達と個性の伸張を図り，より良い人間関係を築こうとする態度を育むなかで，集団や社会の一員として自己の在り方や生き方についての自覚を深め，自主的・実践的な態度を育てる。
その他	挨拶の励行のもと，明るく正しい人間関係を築くとともに，部活動を通して落ち着いた学校生活や学習態度を養う。また，読書を奨励し，先人たちの様々な生き方や体験を知るなかで，自己の可能性に気づかせる。

各学年の取組内容	
1年	① 入学式（4月） ② 学習オリエンテーション（4月） ③ スタディサポート・適性検査（4月） ④ 梨花粉交配作業体験（4月） ⑤ 遠足（5月） ⑥ 学問研究（6～7月） ⑦ 三者面談（7月） ⑧ オープンキャンパス参加（7，8月） ⑨ 社会研究（10～11月） ⑩ 地域研究（12～2月） ⑪ 夏期・冬期・平日課外授業（1月～2月） ⑫ 卒業生講話（3月）
2年	① スタディサポート（4月） ② 公務員希望者指導（4月～） ③ 三者面談（7月） ④ 一日総合大学（10月） ⑤ 小論文指導（10月～2月） ⑥ 修学旅行（12月） ⑦ 夏期・冬期・平日課外授業（1～2月） ⑧ 就職希望者面談（1月） ⑨ 進路ガイダンス（1月） ⑩ 志望理由書講習解（3月）
3年	① 進路研究（4月～1月） ② 就職希望者面談指導（4月～） ③ 公務員希望者指導（4月～） ④ 志望理由書指導（4～7月） ⑤ 夏期・冬期・平日課外授業（6～2月） ⑥ 三者面談（7月） ⑦ オープンキャンパス参加（7，8月） ⑧ 学習合宿（8月） ⑨ 卒業式（3月）

家庭との連携
学校評価・PTA活動・授業公開・学校だより・ホームページ等を通じて学校の運営状況を報告し，同時に家庭からの要望等を真摯に受け止め，学校と家庭との連携を密にしたきめ細かな指導を実践する。

地域・企業との協働
地域の活動やボランティア活動を通じた大人とのかかわりにより，望ましい勤労観や職業感を醸成するとともに，自己の特性や社会における役割を考えさせる。